

安全チェックの手引き



ファミリー・サポート・センター事務局

援助会員の方へ

生後 43 日から小学校修了までの子どもを対象とする、ファミリー・サポート・センターの援助活動を始めるにあたって、乳幼児の発達と起こりやすい事故の要点をまとめました。とくに、年齢の低いお子さんは思わぬことが事故につながる場合がありますので、「安全・事故」の講習とあわせてこの手引きを参考にしてください。



子どもの事故は、年齢によって起こりやすい種別が違い子どもの発達と密接に関係しています。子どもたちの大切な命を預かるため、まずは事故の予防に心がけなくてはなりません。援助活動を始める前に、必ず子どもの目の高さで家の中を点検し、不慮の事故防止に備え、次のページにある安全チェックリストにもとづいてチェックを試みましょう。



安全チェックリスト



0 歳児見守りサポートシート」生後～4 か月(ねんねの時期)

手足の動きが少しずつ活発になり、指や手をしゃぶる赤ちゃんもいます。首が少しずつしっかりしてきて声を出して笑うこともあります。

項目	チェック
1, 赤ちゃんを抱いているとき自分の足元に注意している。	☐
2, ベビーベッドに寝かせる場合、転倒防止のための対策をとっている。	☐
3, 敷布団は硬めのものを使用し寝床にガーゼ等口や鼻をふさぐものを置かないようにしている。	☐
4, 寝ている赤ちゃんの上に、ものが落ちてこないように安全確認をしている。	☐
5, 赤ちゃんを寝かせる時には仰向けに寝かせ、常にそばについて状態を観察・確認している。	☐
6, 口の中に入ってしまう小さなものを赤ちゃんの手の届くところに置かないようにしている。	☐
7, ミルクを飲ませた後はゲップをさせてから寝かせている。	☐
8, 赤ちゃんを抱っこ、おんぶしているとき、ドアを勢いよく締めない。	☐
9, 赤ちゃんが暖房(電気カーペットなど)の熱に直接触れないように気を付けている。	☐
10.換気および室温などに注意している。	☐

事故防止のポイント(前ページの詳細を解説しています、ご確認ください)
1, 赤ちゃんを抱いているときは、足元が見づらいのでちょっとした段差でもつまずいてしまいます。抱いたまま転倒すると、体で押しつぶしたり、家具等にぶつけてしまうので注意が必要です。
2, 生まれて間もない赤ちゃんは寝がえりもしないので、柵をせずその場を離れたり、目を離してしまいがちです。赤ちゃんは思っている以上に成長が早いので、柵の締め忘れには十分気を付けましょう。
3, むいぐるみやガーゼ、スタイ等で鼻や口がふさがれてしまうことがあります。また敷布団は柔らかすぎると赤ちゃんの顔が埋まってしまうので、寝ている間でも目を離さずに様子を見るようにしましょう。
4, テーブルの上や棚の中のモノが落ちて子どもにあたり、外傷や打撲を負ってしまう事故が発生しています。地震が起きた際の転倒防止対策なども確認しておくといでしょう。
5, SIDS(乳幼児突然死症候群)は予兆や既往症もない子どもの睡眠中に突然死に至る原因不明の病気です。うつ伏せに寝かせたときのほうが発症率が高いと言われています。仰向けに寝かせ子どもから目を離さないようにします。揺さぶられ症候群にも気を付けます。
6, しゃぶっている玩具の部品が外れて誤飲につながったり、少し成長すると周囲にあるものを何でも自分で口に入れたがるようになります。生まれたばかりの赤ちゃんでも直径 3.9 センチ以下のものは口に入ってしまうので、赤ちゃんの周辺にあるもの全般に気を付けましょう。
7, 母乳やミルクを飲んだ後は、排気(ゲップ)が十分でないと授乳したものをもどしてしまい、口の中に吐物が残っていると窒息事故につながります。吐いたものが喉や気管につまらないように、寝かせてから 10 分から 15 分位は特に気を付けて見ているようにしましょう。
8, 赤ちゃんの小さな指はちょっとした隙間にも簡単に入ってしまいます。ドアの隙間に指が入っているのを知らずに勢いよく閉めてしまったり、開けっ放しにしておいたドアが風で急にしまって指が挟まれてしまう事故が多発しています。
9, 冬は暖房器具による火傷が多くなります。体温より少し高いくらいの温度でも、長時間直接肌にあてたままにすると低温火傷を起こすことがあります。赤ちゃんの皮膚は大変弱く、ほんの少しの熱でも重度の熱傷になる危険があります。
10, 体温を調節する機能が未熟な赤ちゃんは、気温や室温と一緒に体温が変化しやすいと言われています。(適温:冬場は 20℃～25℃、夏場は外気温より 4～5 度低いくらい)赤ちゃんが不快に感じたり、体調を崩すことのないように配慮しましょう。



安全チェックリスト

大人にとっては何でもないことでも、子どもにとって危険なことが沢山あります。
各項目の(はい、いいえ)のあてはまるところに○印をつけて確認してみましょう。

「3 か月～1 歳 6 か月児対応」

1. 火災や地震の際の避難方法を考えていますか。	は い	いいえ
2. 子どもをソファやベッドにのせたときは、目を離さないようにしていますか。	は い	いいえ
3. 階段や段差のあるところには、子どもが落ちないような対策がしてありますか。	は い	いいえ
4. ドアがボタンと閉まらないような対策をしていますか。	は い	いいえ
5. タバコ、薬、ライター、化粧品、洗剤、硬貨、指輪、刃物、ハサミなどは子どもの手の届かないところに置いていますか。	は い	いいえ
6. ビニール袋やラップなどを子どもの手の届かないところに置いていますか。	は い	いいえ
7. ポットや炊飯器は子どもの手の届かないところに置いていますか。	は い	いいえ
8. 熱いお茶、鍋、アイロンなどを子どもの手の届かないところに置いていますか。	は い	いいえ
9. テーブルクロスは使用しないようにしていますか。	は い	いいえ
10. 浴室に鍵をかけるなど、子どもが入れないような対策をしていますか。	は い	いいえ
11. バケツや洗面器に水をためて、床に置いたままにすることはないですか。	は い	いいえ
12. 子どもを抱きながら、熱いものを飲食しないようにしていますか。	は い	いいえ
13. 暖房器具を使うときは、やけどに気をつけていますか。	は い	いいえ
14. 扇風機やファンを使うときは、指等が巻き込まれないようにしていますか。	は い	いいえ
15. テレビ台の扉や、周辺機器の挿入口は、子どもの手や指が入らないようにしていますか。	は い	いいえ

「1 歳 6 か月児～3 歳児対応」

1. 子どもが遊んでいる周りに、つまづきやすいものや段差がないか注意していますか。	は い	いいえ
2. テーブルや椅子など、高いところでは立ち上がらせないようにしていますか。	は い	いいえ
3. 階段を上り下りするときは、いつも子どもの下側を歩くか、手をつなぐようにしていますか。	は い	いいえ
4. 子どもに引き出しやドアを開け閉めして遊ばせないようにしていますか。	は い	いいえ
5. 子どもが鉛筆やスプーンやフォーク、歯ブラシなどをくわえたまま走り回らないようにしていますか。	は い	いいえ
6. 子どもの腕を強く引っ張らないように気をつけていますか。	は い	いいえ
7. ストーブやヒーターは子どもが触れないようにガードをしていますか。	は い	いいえ
8. 熱いお茶、味噌汁、カップラーメンなど熱いものに子どもが触れないようにしていますか。	は い	いいえ
9. 医薬品、化粧品、洗剤などは子どもの手の届かないところに置いていますか。	は い	いいえ
10. 子どもが鼻や耳に小さいものを入れて遊ばないように気をつけていますか。	は い	いいえ
11. ピーナッツや飴玉などは、子どもの手の届かないところに置いていますか。	は い	いいえ
12. 子どもが一人で浴室に入らないような対策をしていますか。	は い	いいえ
13. 家のあちこちにあるコンセントに子どもがものを差し込まないようにカバーをしていますか。	は い	いいえ



「3 歳児～対応」

1. 子どもが外遊びをするとき、つまづきやすいものや段差がないか、危ないものが落ちていないか注意していますか。	は い	いいえ
2. いつも子どものいる位置を確認して目を離さないようにしていますか。	は い	いいえ
3. すべり台やブランコなどの安全な乗り方を教えていますか。	は い	いいえ
4. おもちゃで遊んでいるとき、危険なことをしていないか確認していますか。	は い	いいえ
5. 道路を子どもと歩くとき、交通ルールを教えていますか。	は い	いいえ
6. 飴、お餅などをあげるとき、喉につまらせないように注意していますか。	は い	いいえ
7. ドアやサッシの開閉のとき手や指を挟まないように対策をしていますか。	は い	いいえ
8. ベランダや窓の近くに、踏み台となるようなものは置かないようにしていますか。	は い	いいえ
9. ペットの有無についてセンターに知らせていますか。 (ペットについては、センターに届けてください)	は い	いいえ

※ もう一度安全について考えてみてください。

繰り返しチェックする中で、常に安全を心がけましょう。



子どもの成長と起こりやすい事故については、下記ホームページでご確認ください。

子ども家庭庁

「こどもを事故から守る！事故防止ハンドブック」



東京都

子供の事故防止ハンドブック

乳幼児編 「カエルくんと学ぶ『変えられるもの』」



小学生編（主に低学年向け）

「カエル先生にきく『かえられるもの』」



小学生編（主に高学年向け）

「カエル先生にきく『変えられるもの』」

